

一 RSウイルス感染症 : 過去5年間の同時期に比べやや多い 一

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、0.71人（前週：0.90人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べやや多い状況です。

保健所別では、田辺保健所管内が2.00人（前週：3.00人）と最も多くなっています。

全国的には患者報告数は減少し、過去5年間の同時期に比べ少ない状況です。（第10週：1361人）

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、感染予防対策としては手洗い、うがいが基本です。

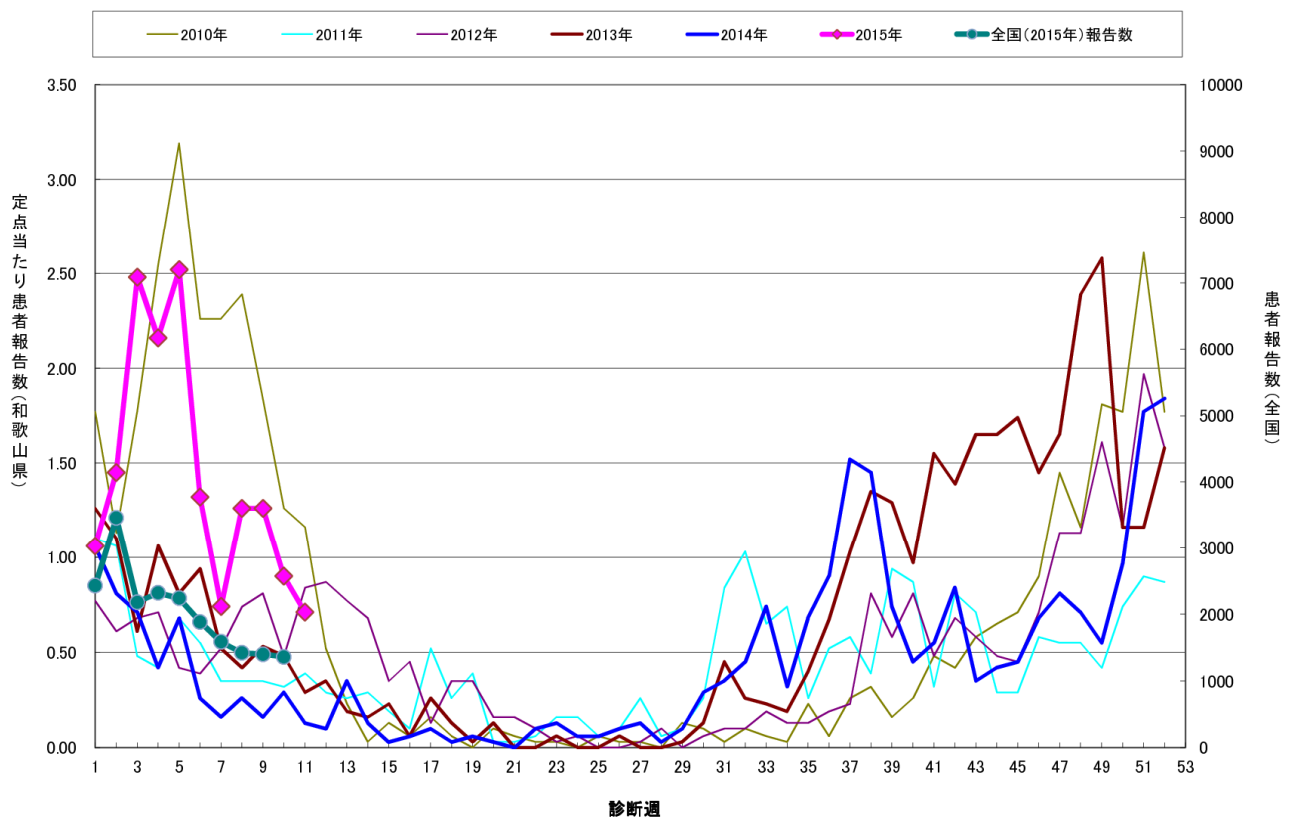
また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

なお、RSウイルス感染症に警報・注意報レベル基準値は設定されていません。

RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら：(厚生労働省HP)

(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html)

RSウイルス感染症



◆◆ これから注意が必要な感染症 ◆◆

一 感染性胃腸炎 一

感染性胃腸炎は、細菌やウイルス等による感染症で、発熱、嘔吐、下痢等が主な症状です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は5.71人（前週：4.61人）と増加しましたが、過去5年間の同時期に比べ少ない状況です。しかし、例年冬場に集団感染等が多く発生するため十分に注意してください。

全国的には定点当たりの患者報告数は増加しましたが、過去5年間の同時期に比べ少ない状況です。（第10週：8.07人）

冬季の流行はウイルス感染によるものが多く、原因となる病原体は流行期前半ではノロウイルスが多いと言われています。ノロウイルスの感染力は強く、患者の吐物・便から手指を介して感染することも多く、その取り扱いに注意が必要です。

感染性胃腸炎の感染予防としては、次のようなポイントがあります。

○手を洗いましょう。

外出先から帰った後や、トイレの後、調理の前には、消毒液や石けんで十分手を洗いましょう。

タオルは共有せず専用のものにしましょう。

○食品の取り扱いに注意しましょう。

加熱する場合は、食品の中心まで火が通る（85℃、1分）ようにしましょう。

まな板、包丁、ふきん、タオル等も熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱が有効です。

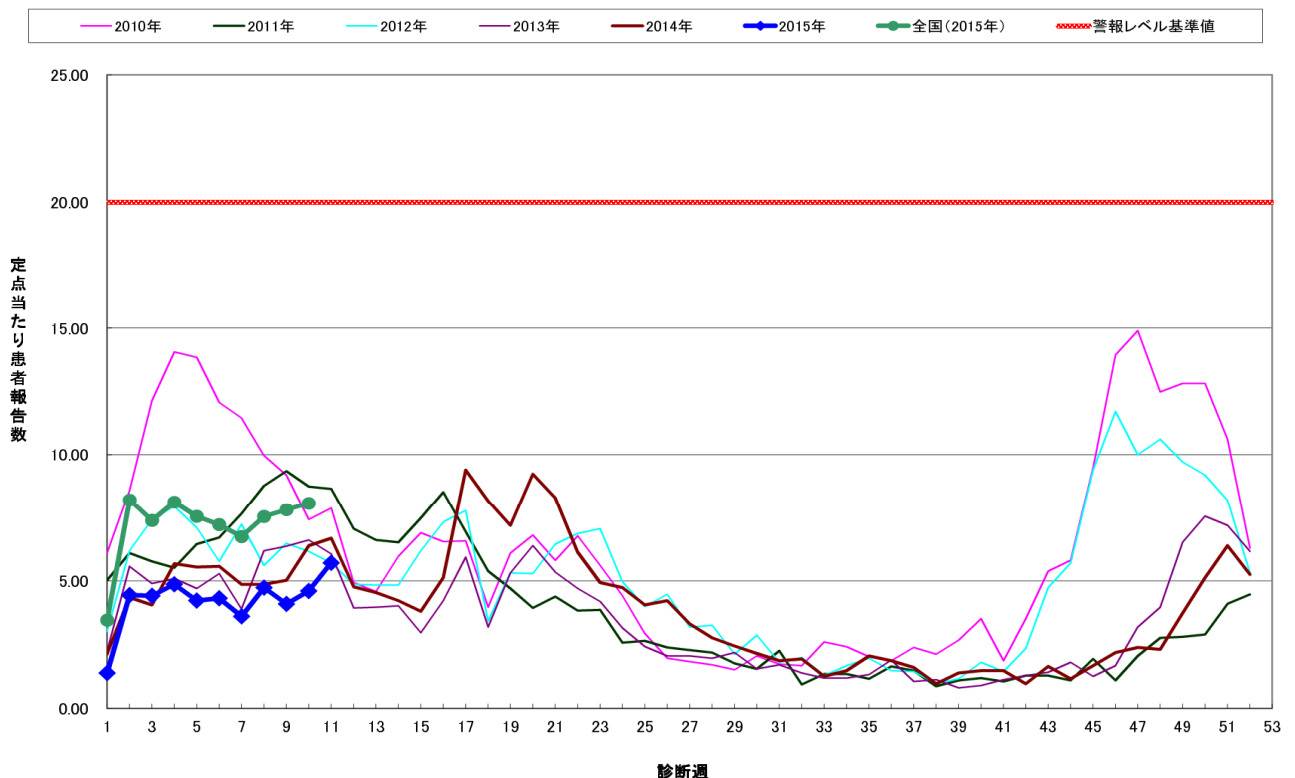
○患者の吐物等の処理に注意しましょう。

マスク、使い捨てビニール手袋等を着用し、ペーパータオル等で拭き取った後、ビニール袋などに入れて外に漏れないようにして捨てましょう。汚染された床は、約200倍程度に薄めた塩素系漂白剤を用いて消毒しましょう。

※塩素剤の取り扱いは、ビニール手袋などして、十分換気しましょう。

※塩素系消毒剤は金属の腐食を起こすので、消毒後十分拭き取りましょう。

感染性胃腸炎(和歌山県全体)



－ 手足口病 : 今後の動向注意! －

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。子どもを中心に、主に夏に流行する感染症ですが、報告数が増加してきていますので注意してください。

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は0.74人（前週：0.81人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

保健所別では、湯浅保健所管内の患者報告数が、4.33人（前週：4.33人）と最も多くなっており、警報レベルです。

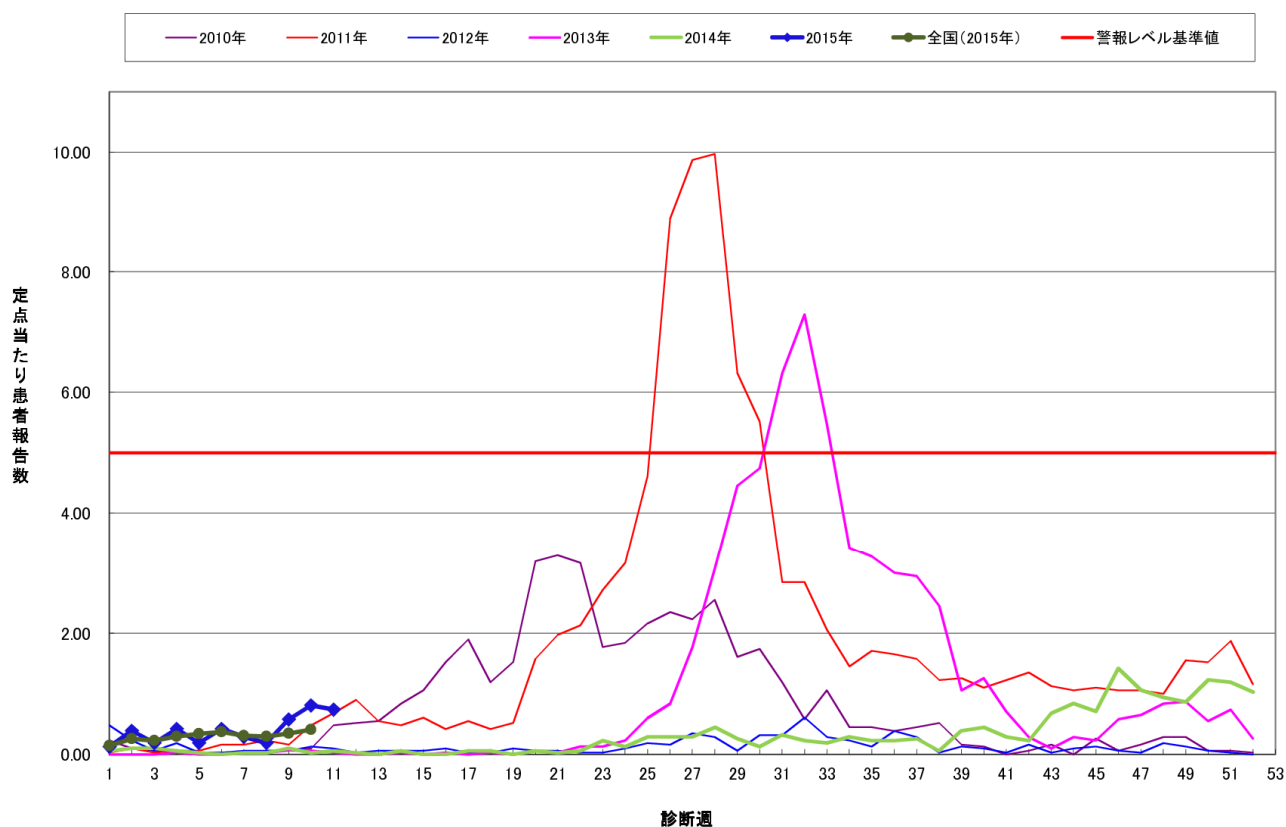
全国的にも患者報告数は増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。（第10週：0.41人）

この疾病の感染経路は、飛沫感染、接触感染及び糞口感染です。感染予防のために流水と石けんで十分に手洗いを行い、タオルの共用は避けてください。

手足口病に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>)

手足口病(和歌山県全体)



風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成をおこなっています。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

助成期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 3 名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 名

2) 第 1 週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	38
つつが虫病	2
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
後天性免疫不全症候群	1
ジアルジア症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	3
梅毒	2
播種性クリプトコックス症	2

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 手足口病（湯浅保健所管内）
- 急性出血性結膜炎（田辺保健所管内）

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	173	-	-	6	1	5	8	16	10	14	12	14	49	4	3	11	6	7	5	2	-
	定当	3.46	-	-	0.12	0.02	0.1	0.16	0.32	0.2	0.28	0.24	0.28	0.98	0.08	0.06	0.22	0.12	0.14	0.1	0.04	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	22	8	6	4	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.71	0.26	0.19	0.13	-	0.06	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	10	-	1	1	2	1	1	-	2	1	-	-	1	-	-
	定当	0.32	-	0.03	0.03	0.06	0.03	0.03	-	0.06	0.03	-	-	0.03	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	30	-	-	1	-	2	3	6	5	1	2	3	7	-	-
	定当	0.97	-	-	0.03	-	0.06	0.1	0.19	0.16	0.03	0.06	0.1	0.23	-	-
感染性胃腸炎	報告	177	1	11	30	21	19	16	17	23	7	9	5	13	1	4
	定当	5.71	0.03	0.35	0.97	0.68	0.61	0.52	0.55	0.74	0.23	0.29	0.16	0.42	0.03	0.13
水痘	報告	22	-	1	2	6	2	6	1	1	1	-	1	1	-	-
	定当	0.71	-	0.03	0.06	0.19	0.06	0.19	0.03	0.03	0.03	-	0.03	0.03	-	-
手足口病	報告	23	-	3	4	2	4	6	-	1	2	1	-	-	-	-
	定当	0.74	-	0.1	0.13	0.06	0.13	0.19	-	0.03	0.06	0.03	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	定当	0.1	-	-	-	-	0.03	-	-	0.03	-	-	0.03	-	-	-
突発性発しん	報告	9	-	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.29	-	0.13	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	-	-	-	-	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	77	-	56	7	1	5	20	3	4
	定当	5.13	-	9.33	1.17	0.2	1.67	2.86	1	2
RSウイルス感染症	報告	9	-	2	-	2	1	8	-	-
	定当	1	-	0.5	-	0.67	0.5	2	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	4	-	-	2	2	1	-
	定当	0.11	-	1	-	-	1	0.5	0.5	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	5	2	5	12	-	3	3	-	-
	定当	0.56	1	1.25	3	-	1.5	0.75	-	-
感染性胃腸炎	報告	81	16	53	-	13	9	4	1	-
	定当	9	8	13.25	-	4.33	4.5	1	0.5	-
水痘	報告	9	-	-	-	8	-	3	2	-
	定当	1	-	-	-	2.67	-	0.75	1	-
手足口病	報告	-	1	7	2	13	-	-	-	-
	定当	-	0.5	1.75	0.5	4.33	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	2	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.22	-	0.25	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	4	-	2	1	1	-	1	-	-
	定当	0.44	-	0.5	0.25	0.33	-	0.25	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	定当	-	-	-	0.25	0.33	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	1	…	…
流行性角結膜炎	報告	4	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	1.33	…	…	…	…	…	1	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	1	…	1	2	-	2	-	-	…
	定当	0.33	…	1	1	-	2	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	3	…	2	-	-	7	-	-	…
	定当	1	…	2	-	-	7	-	-	…

<院内感染症の動向>

2月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が1.64人(先月：2.00人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約78%となっています。

【2月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	18	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	1	14
	定当	1.64	-	-	-	-	-	-	0.09	0.09	-	-	-	-	0.09	-	0.09	1.27
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2015 年第 11 号

発行日：平成 27 年 3 月 19 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。